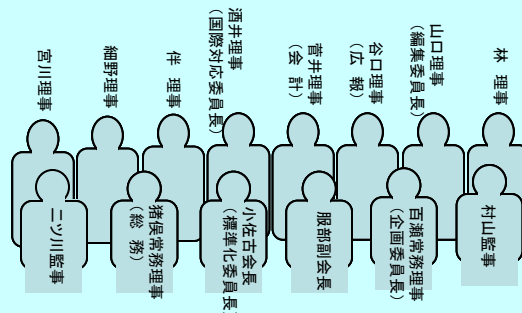


(社)日本保健物理学会理事会の活動

日本保健物理学会理事会

第29回原子力委員会
資料第1-1号



平成23年度の理事会は、会長1名、副会長1名、常務理事2名、理事8名、監事2名で活動しています。

2. 理事会の役割

- (1) 学会の運営に必要な事項の審議及び決定(理事会を年2回開催するほか、執行理事会、メーリング理事会懇話会を適宜開催)
- (2) 会員の入退会、企画行事等の承認
- (3) トピックスの事項への対応(臨時委員会等を設置し、検討)
- (4) 時々の状況・要請に応じた規定類の制定及び改定
- (5) 予算の編成、決算報告及び会計監査
- (6) 国際放射線防護学会(IRPA)やアジア・オセアニア地区放射線防護学会(AOARP)との連携の推進
- (7) 各種団体(日本学術会議、日本放射線連合、他学会等)との交流の推進

3. 最近の活動(定常的活動以外)

- (1) 学会創立50周年を迎え、一般社団法人化を達成しました。(2011年8月)
- (2) 福島事故対応として、一般向けの暮らしの放射線Q&Aサイトを、学会ホームページ上に開設しました。
- (3) 福島事故対応シンポジウム(6月、8月、12月)を開催し、福島事故セッションを設けた第44回研究発表会(2011年10月、水戸)を成功裏に開催しました。
- (4) IRPA13(2012年5月、英国)の若手研究者賞候補者1名を公募により推薦しました。
- (5) 表面汚染測定を用いたクリアランスの判断方法についてのガイドラインを制定しました。
- (6) 韓国や中国の放射線防護学会等との協力関係の構築を推進し、本学会からAOARP会長を選任するなど、国際的活動を強化しています。
- (7) インターネットやメールによる情報の共有化に努め、学会メーリングリスト機能を見直しました。
- (8) 意欲ある学生の学会活動への参加を促進するため、「学友会」活動を進めています。
- (9) 若手研メンバーの理事会参加など、学会活動の活性化を進めました。
- (10) 活動範囲の拡張、財政強化、支出抑制などの具体策を検討しています。
- (11) 本会学会活動と関連した他機関の研究会等の協賛、後援を行いました。

会員数

会員種別	H23年3月末
正会員	852
正学生会員	24
準学生会員	103
名誉会員	6
特別会員	41
賛助会員	57
団体会員	41

4. 今後の主な計画

- (1) 理事会及び常設の企画委員会、編集委員会、国際対応委員会、放射線防護標準化委員会ならびに各種専門研究会の活動を積極的に行います。
- (2) IRPAの日本を代表する学会として、産・官・学、関連 諸団体との連携及び協力を蜜にし、会員の拡大に努めます。
- (3) 若手研究者が学会主催のシンポジウム等で発表する機会を増やすなど、若手の視点から学会活動の活性化をはかります。また、学生会員による学友会活動を積極的に支援します。
- (4) 一般社団法人として学会の活動基盤の強化をはかります。
- (5) 第45回研究発表会(2012年6月、名古屋)を成功裏に開催します。
- (6) IRPA13(2012年5月、英国)に向けて、AOARP加盟国をはじめとする諸外国との交流を促進し、国際的な連携の強化をはかります。
- (7) わが国における放射線防護基準等を合理的なものとするため、放射線防護標準化委員会の活動を強化します。
- (8) 学会誌「保健物理」の国際的認知度を高めるとともに、「News Letter」及びホームページ等により、有益な情報を会員及び会員外に提供します。

日本保健物理学会
JAPAN HEALTH PHYSICS SOCIETY

放射線防護 標準化委員会

標準化委員会とは…

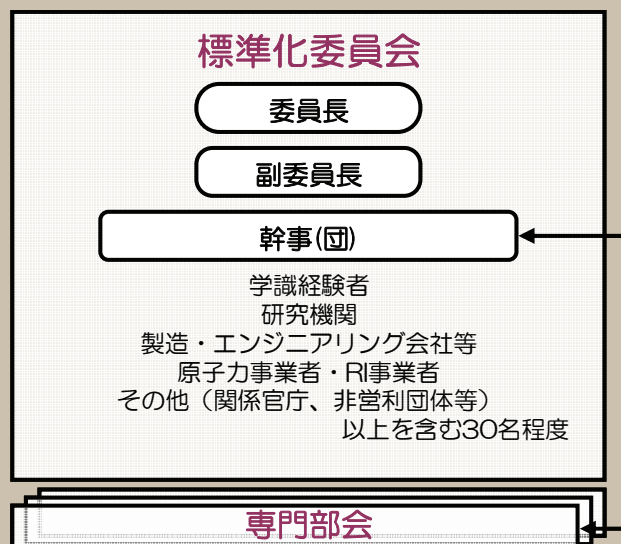
放射線防護にかかわる基本要件を、標準の体系としてここに提示するために、日本保健物理学会において標準化委員会が設置されました。標準化委員会は、国際放射線防護委員会(ICRP)および国際原子力機関(IAEA)等による、国際的に広く受け入れられている放射線防護の諸原則を基礎とし、我が国に適用可能な形で安全体系を、先導的に学会基準として提示することを目的としています。

標準化の体系

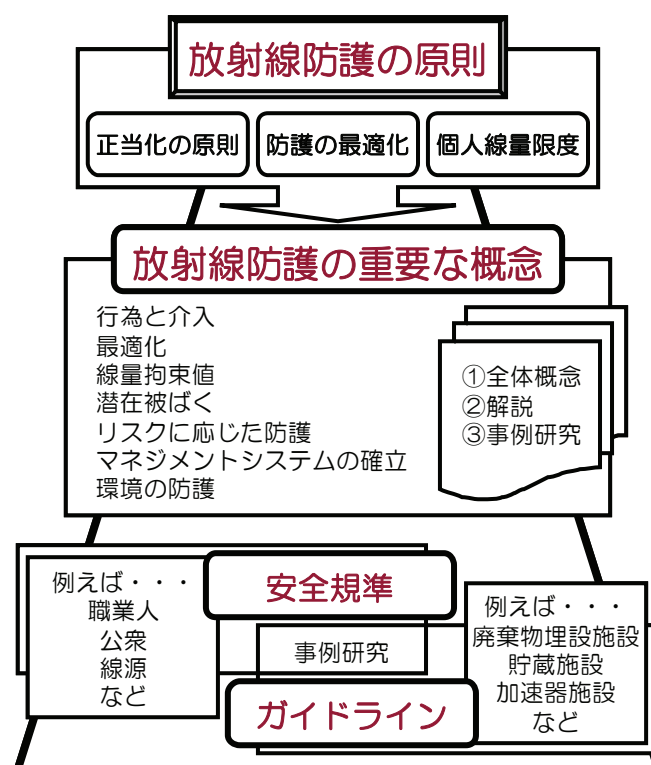
標準化の体系は図に示すように、最上位の標準として放射線防護全体を表現する「放射線防護の原則」があります。その下部に「放射線防護の重要な概念」の標準が続き、これらの原則が、「適用すべき対象ごとの安全規準」として下位に展開されます。さらに、実用に供するため、必要に応じて「施設ごとにこれらの標準体系を展開したガイドライン」が用意されていきます。

委員会構成

委員会の構成は、委員長1名、副委員長、幹事若干名と専門部会長を含む委員で組織され、その下部に必要に応じて専門部会が設置され運用されます。



標準化体系図



委員会の活動

標準化委員会は「放射線防護標準化委員会 運営規則及び内規」に基づき、放射線防護に関する標準化事業の推進に必要となる以下のような事項を検討・実施します。さらに、「標準」策定に際しては、その運用の独立性に留意し、公平、透明性を確保するために公衆審査及び審議結果の公知等に努めます。

標準制定に関する事項

- ①放射線防護に関する標準の制定のための基本方針の策定
- ②基本方針に従った標準の制定、改定、廃止
- ③学会が発行する標準の管理・普及

対外に関する事項

- ①国内外の標準制定に関係する組織の政策や動向調査
- ②標準の制定・使用に関係する団体と役割分担等調整
- ③関係組織(関連官庁など)への、標準の意義説明と学会の立場及び考えの説明
- ④一般公衆への、標準の意義説明と学会の考えの公知

連絡先

日本保健物理学会放射線防護標準化委員会
事務担当

今津秀則

Tel: 03-5405-1844 Fax: 03-5405-1846

E-mail: jhps_hyoujun@hyoujunka.org

日本保健物理学会

Home page: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jhps/>